

第7回全日本バトントワリングジュニア

選手権九州大会

競 技 規 定
審 査 規 定



日本バトン協会九州支部

目 次

第7回全日本バトントワリングジュニア選手権九州大会

ソロトワール	2
トゥーバトン	3
スリーバトン	4
ペア	5
ソロストラット	6
ダンストワール	8
その他の競技規定	9
緊急対応競技規定・審査規定	10
順位規定	11

ソロトワール

1. 競技規定

- (1) 人数 …1 名
(2) 使用するバトン …レギュラーバトン 1 本
(3) 競技フロア …縦 10m×横 12m の広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある。
※別紙参照

※別紙参照

- (4) 課題曲 (時間) …Valiant Edge (約1分45秒)
(5) 内容 …1本のボタンを使って技術を競う。

ルーティーン構成 以下の組み合わせでルーティーンを構成する。

- | | | | |
|---|----------------------------|------------|-----------------------|
| ① | イントロダクション（オープニング サリュートは自由） | | |
| ② | 3モード | エーリアル | [バーティカル・フラット（ホリゾンタル）] |
| | | ロール | [バーティカル・フラット（ホリゾンタル）] |
| | | コンタクトマテリアル | [バーティカル・フラット（ホリゾンタル）] |

- ③ エンディング（エンディング サリュートは自由）

※フロアワークは組み入れない方が望ましい。

- (6) リストリクション …対象：女子 U-9、女子 U-12
(技の制限) 男子 U-12

エーリアルにおけるジムナスティックのトリプル以上と全てのアクロバティック空中動作を禁止。

- ## (7) コスチューム

〔女子〕 レオタード（袖の有無自由）、装飾、髪飾り自由。足首までのソックスまたは肌色のタイツ。

〔男子〕 トップスとロングパンツの組み合わせ、またはワンピーススーツ、装飾自由。ソックス、タイツ自由。

〔共通〕 シューズは会場で使用できるバトンシューズ・スポーツシューズ・ダンスシューズを着用すること。

※スポーツであることを前提に、胴体部分の露出には留意する。

2. 審查規定

- ### (1) 内容

- ① バラエティー
3モードのバランス／両手使い
- ② ディフィカルティー
バトントワリングとボディワークの困難度／リリース／レセプション／リードイン／
フォロースルー／コネクション

- ## (2) 実施

- ① テクニック
バトントワリングの正確さ／ボディワークの正確さ／バトンの熟練度、質／ボディワークの熟練度、質／リズム、タイミングのコントロール
- ② パフォーマンス&エクスペッション
プロジェクション（意気込み）／ダイナミックさ／持続性（忍耐力とスタミナ）／自信のある演技／リカバリー能力／観客や審査員に対する一体感
- ③ スピード
バトンの回転だけではなく全体を通しての一貫したスピード／スピードコントロール
★目安とする競技フロアの広さ以上に使用した場合は審査に影響することもある。

- ### (3) ペナルティ

- ① ドロップ 1本につき0.1点減点
② 転倒 部分転倒1回につき0.1点減点、全転倒1回につき0.2点減点
③ アンダータイム 演技停止合計32拍を超えた場合0.2点減点
(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まない)
④ リストリクション 1回につき0.2点減点
※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

トウーバトン

1. 競技規定

- (1) 人数 …1 名
- (2) 使用するバトン …レギュラーバトン 2 本
- (3) 競技フロア …縦 10m×横 12m の広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある。
※別紙参照
- (4) 課題曲（時間） …Two Baton・Three Baton & Pair Special（約 1 分 30 秒）
- (5) 内容 …2 本のバトンを使って技術を競う。
ルーティーン構成 以下の組み合わせでルーティーンを構成する。
 - ① コンタクトマテリアル（2 本のバトンを身体の近くで行うトワール）
 - ② ロール（両手を使ったロール。または空中で 1 本のバトンが高く、もう 1 本がロールの組み合わせ）
 - ③ ハイ ロー（空中で 1 本のバトンが高く、もう 1 本が低いエーリアル。又は 1 本が高くもう 1 本はコンタクトマテリアル等の組み合わせ）
 - ④ ダブル トス トリック（2 本同時に空中ヘトス）
 - ⑤ ジャグル（片手で連続的なリリースとキャッチ。例：片手で 2 本のバトンを交互にトス）
 - ⑥ シャワー（両手で連続的なリリースとキャッチ。例：1 本のバトンをついてもう 1 本をパスして最初のバトンをついてキャッチ）
 - ⑦ コンプレックス トリック（複雑なトリック・リリース・レセプション）
- (6) リストリクション …対象：女子 U-12、男子 U-12
（技の制限） エーリアルにおけるジムナスティックのトリプル以上と全てのアクロバティック空中動作を禁止。
- (7) コスチューム
 - 〔女子〕 レオタード（袖の有無自由）、装飾、髪飾り自由。足首までのソックスまたは肌色のタイツ。
 - 〔男子〕 トップスとロングパンツの組み合わせ、またはワンピーススーツ、装飾自由。ソックス、タイツ自由。
 - 〔共通〕 シューズは会場で使用できるバトンシューズ・スポーツシューズ・ダンスシューズを着用すること。※スポーツであることを前提に、胴体部分の露出には留意する。

2. 審査規定

- (1) 内容
 - ① バラエティー
コンタクトマテリアル／ロール／ハイ ロー／ダブル トス トリック／ジャグル／シャワー／コンプレックス トリック
 - ② ディフィカルティー
バトントワリングとボディワークの困難度／リリース／レセプション／リードイン／フォロースルー／コネクション
- (2) 実施
 - ① テクニック
バトントワリングの正確さ／ボディワークの正確さ／トウーバトンの熟練度、質／ボディワークの正確さ熟練度、質／リズム、タイミングのコントロール
 - ② パフォーマンス&エクスペッション
プロジェクション（意気込み）／ダイナミックさ／持続性（忍耐力とスタミナ）／自信のある演技／リカバリー能力／観客や審査員に対する一体感
 - ③ スピード
バトンの回転だけではなく全体を通しての一貫したスピード／スピードコントロール
★目安とする競技フロアの広さ以上に使用した場合は審査に影響することもある。
- (3) ペナルティ
 - ① ドロップ 1 本につき 0.1 点減点
 - ② 転倒 部分転倒 1 回につき 0.1 点減点、全転倒 1 回につき 0.2 点減点
 - ③ アンダータイム 演技停止合計 32 拍を超えた場合 0.2 点減点
（サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まない）
 - ④ リストリクション 1 回につき 0.2 点減点※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

スリーバトン

1. 競技規定

- (1) 人数 …1 名
- (2) 使用するバトン …レギュラーバトン 3 本
- (3) 競技フロア …縦 10m×横 12m の広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある。
※別紙参照
- (4) 課題曲（時間） …Two Baton・Three Baton & Pair Special（約 1 分 30 秒）
- (5) 内容 …3 本のバトンを使って技術を競う。
ルーティーン構成 以下の組み合わせでルーティーンを構成する。
 - ① カスケード（左右交互に行われるリリースとキャッチ）
 - ② シャワー（両手による継続的なリリースとキャッチ）
 - ③ ジャグル（片手による継続的なリリースとキャッチ）
 - ④ ダブルトスーシングルトス
（2 本同時に空中ヘトスし、それとコーディネーションして残りもう 1 本を続いてトスする）
 - ⑤ ハイ ロー（高いエアーリアルの下でトゥーバトンの技を行うこと）
 - ⑥ スタックス（高いエアーリアルの下に低いエアーリアルを投げ上げ、その下でコンタクトマテリアルを行う）
 - ⑦ トリプルトス（最初のトスをレセプションする前に、1 本ずつすべて順番にリリースするもの。
または、3 本のバトンすべてを同時にリリースするもの）
- (6) リストリクション …対象：女子 U-12、男子 U-12
（技の制限） エアーリアルにおけるジムナスティックのトリプル以上と
全てのアクロバティック空中動作を禁止。
- (7) コスチューム
[女子] レオタード（袖の有無自由）、装飾、髪飾り自由。足首までのソックスまたは肌色のタイツ。
[男子] トップスとロングパンツの組み合わせ、またはワンピーススーツ、装飾自由。ソックス、タイツ自由。
[共通] シューズは会場で使用できるバトンシューズ・スポーツシューズ・ダンスシューズを着用すること。
※スポーツであることを前提に、胴体部分の露出には留意する。

2. 審査規定

- (1) 内容
 - ① バラエティー
シークエンスの広がりと変化、それらのミックス／両手使い／コンタクトマテリアル、ロール／パターン、プレーン、ディレクションの扱い方
 - ② ディフィカルティー
密度／リリース、レセプションの困難度／リスク／エアーリアル
 - (2) 実施
 - ① テクニック
バトントワーリングの精密さ、安定感／コレクション／リズム、タイミングのコントロール／バトントワーリングとボディワークのブレンド及びスピード／フォロースルー、パターンチェンジ、レボリューションの正確さ
 - ② パフォーマンス&エクスペリション
エンターテインメント性／持久力とスタミナ／自信のある演技／リカバリー能力
 - ③ デマンド
継続性／同時責任性／ビジュアルトラッキング／空間構成能力
★目安とするフロアの広さ以上に使用した場合は審査に影響することもある。
 - (3) ペナルティ
 - ① ドロップ 1 本につき 0.1 点減点
 - ② 転倒 部分転倒 1 回につき 0.1 点減点、全転倒 1 回につき 0.2 点減点
 - ③ アンダータイム 演技停止合計 32 拍を超えた場合 0.2 点減点
（サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まない）
 - ④ リストリクション 1 回につき 0.2 点減点
- ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

ペア

1. 競技規定

- (1) 人数 …2 名
- (2) 使用するバトン …レギュラーバトン 2 本（各 1 本）
- (3) 競技フロア …縦 10m×横 12m の広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある。
※別紙参照
- (4) 課題曲（時間） …Two Baton・Three Baton & Pair Special（約 1 分 30 秒）
- (5) 内容 …二人で、バトントワーリングとボディワークの調和した技術を競う。
ルーティーン構成 以下の組み合わせでルーティーンを構成する。
 - ① ソロトワールと同様であるが、エクステンジなどペア要素を重視したもので構成する。
※二人がソロトワールの同じことを行うだけではなく、ペアの特色を生かした演技をすることに価値がある。
- (6) リストリクション …対象：U-12
（技の制限） エアリアルにおけるジムナスティックのトリプル以上と全てのアクロバティック空中動作を禁止。
- (7) コスチューム
 - 〔女子〕 レオタード（袖の有無自由）、装飾、髪飾り自由。足首までのソックスまたは肌色のタイツ。
 - 〔男子〕 トップスとロングパンツの組み合わせ、またはワンピーススーツ、装飾自由。ソックス、タイツ自由
 - 〔共通〕 シューズは会場で使用できるバトンシューズ・スポーツシューズ・ダンスシューズを着用すること。※スポーツであることを前提に、胴体部分の露出には留意する。

2. 審査規定

- (1) 内容
 - ① バラエティー
3 モードのバランス／エクステンジ／ペアワーク／フロアパターン
 - ② ディフィカルティー
バトントワーリングとボディワークの困難度／シンクロナイズーション（同時性）の困難度／コーディネーション（組み合わせ）の困難度
- (2) 実施
 - ① テクニック
バトントワーリングの正確さ／ボディワークの正確さ／バトントワーリングの熟練度、質／ボディワークの熟練度、質／ペアのコントロール／リズム、タイミングのコントロール
 - ② パフォーマンス&エクプレッション
ペアとしての責任／プロジェクション（意気込み）／持続性（忍耐力とスタミナ）／自信のある演技／リカバリー能力
 - ③ スピード
バトントワーリングの一貫したスピード／二人の統一したスピード
★目安とする競技フロアの広さ以上に使用した場合は審査に影響することもある。
- (3) ペナルティ
 - ① ドロップ 1 本につき 0.1 点減点
 - ② 転倒 部分転倒 1 回につき 0.1 点減点、全転倒 1 回につき 0.2 点減点
 - ③ アンダータイム 演技停止合計 32 拍を超えた場合 0.2 点減点
（サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まない）
 - ④ リストリクション 1 回につき 0.2 点減点※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

ソロストラット

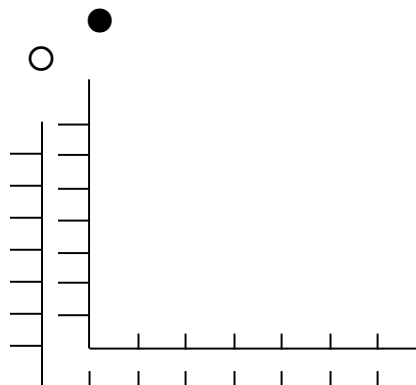
1. 競技規定

- (1) 人数 …1 名
(2) 使用するバトン …レギュラーバトン 1 本
(3) 競技フロア …縦 10m×横 15m の広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある。
※別紙参照
(4) 課題曲 (時間) …Strut March (1 分 33 秒)
(5) 内容 …マーチのリズムの中で、優雅で気品のあるボディワークとバトントワーリングの技術を競う。

ルーティーン構成 以下の組み合わせでルーティーンを構成する。

- ① イントロダクション 8 拍
・振り付けは自由だが、ミリタリーストラットに導入しやすい動作 (アテンション等)
② ミリタリーストラット (L 字ストラット) 32 拍
・足の動き…
審査員に向かってベーシックストラット (腿は、床と平行になる) で 8 拍前進、
8 歩目 (右足) を踏み出すと同時に右足を軸にして左に 90 度方向変換、
新方向へ左足より 7 拍前進、
7 歩目 (左足) を踏み出すと同時に左足を軸にして右廻りで 180 度方向変換、
右足より 8 拍前進、
8 歩目 (左足) を踏み出すと同時に左足を軸にして右に 90 度方向変換、
審査員を後ろにし、8 拍前進、9 歩目で右足を左足に揃える。

FM 8 (LS ON8)
FM 8 (TTR ON7)
FM 8 (RS ON7)
FM 8 (H ON8)



審査員席

- ・右手はビートタイム (拍子をとる) [指揮杖でバンドを指揮するような動作]
 - ・左手は、指を揃えて左腰におく
 - ・足は、ベーシックストラット
 - ・背中是一直正面 (進行方向) を向く、顔は引き締める
- ③ プレゼンテーション 32 拍
・自由に表現できるセクション
- ④ フォワードモーション 96 拍
・パレードを先導するように、ビートに合わせて前進しながらバトントワーリングとボディワークを組み合わせ、フロアをデザインするセクション
・奇数は左足、偶数は右足でステップする
・両脚は 1 拍までとする
- ⑤ エンディング 16 拍
・全ての終わりを示し、自由に表現できるセクション

(6) リストリクション …対象：U-12

(技の制限) エーリアルにおけるジムナスティックのトリプル以上と
全てのアクロバティック空中動作を禁止

(7) コスチューム

[女子] レオタード(袖の有無自由)、装飾、髪飾り自由。足首までのソックスまたは肌色のタイツ。

[男子] トップスとロングパンツの組み合わせ、またはワンピーススーツ、装飾自由。ソックス、タイツ自由

[共通] シューズは会場で使用できるバトンシューズ・スポーツシューズ・ダンスシューズを着用すること。

※スポーツであることを前提に、胴体部分の露出には留意する。

2. 審査規定

(1) 内容

① イントロダクション・ミリタリーストラット

ビートタイム／ミリタリースタイル／ベーシックストラット

② プレゼンテーション・エンディング

バトントワーリングとボディワークのバラエティー／バトントワーリングとボディワークのディフィカルティー／バトントワーリングとボディワークのオリジナリティー

③ フォワードモーション

バトントワーリングとボディワークの組み合わせのバラエティー、ディフィカルティー／
バトントワーリングとボディワークの組み合わせのオリジナリティー／フロアデザイン

(2) 実施

① テクニック

バトントワーリングとボディワークの調和と正確さ／シャープさ、柔軟性、優雅さ／リズムの取り方／ボディコントロール

② パフォーマンス&エクスペッション

パレードを先導する演技／アピール性、自信／リカバリー能力

③ アウトオブステップ

フォワードモーションでの足踏みの踏み間違え

★目安とする競技フロアの広さ以上に使用した場合は審査に影響することもある。

(3) ペナルティ

① ドロップ

1本につき0.1点減点

② 転倒

部分転倒1回につき0.1点減点、全転倒1回につき0.2点減点

③ アンダータイム

演技停止合計32拍を超えた場合0.2点減点

(サリュートやエンディングポーズ、ドロップミスによるものは含まない)

④ リストリクション 1回につき0.2点減点

※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

ダンストワール

1. 競技規定

- (1) 人数 …1 名
- (2) 使用するバトン …レギュラーバトン 1 本
- (3) 競技フロア …縦 10m×横 15m の広さを目安とするが、会場によっては若干狭くなる場合もある。
※別紙参照
- (4) 課題曲（時間） …輝きの時（約 1 分 34 秒）
- (5) 内容 …バトントワリングとダンスワークのブレンドが、音楽に調和した技術を競う。
ルーティーン構成 以下の組み合わせでルーティーンを構成する。
音楽のテンポ、リズム、フレーズに合わせ、曲想表現ができるよう、様々なダンスワークとバトントワリングをブレンドし構成する。
- (6) リストリクション …対象：U-12
（技の制限） エアリアルにおけるジムナスティックのトリプル以上と全てのアクロバティック空中動作を禁止。
- (7) コスチューム
[男女共通] 自由 装飾、髪飾り自由。
帽子の脱着やコスチュームの一部が身体から完全に離れる様な脱着は不可。
シューズは会場で使用できるバトンシューズ・スポーツシューズ・ダンスシューズを着用すること。
※個性やスタイルに合い、曲想表現の助けになるものが望ましい。

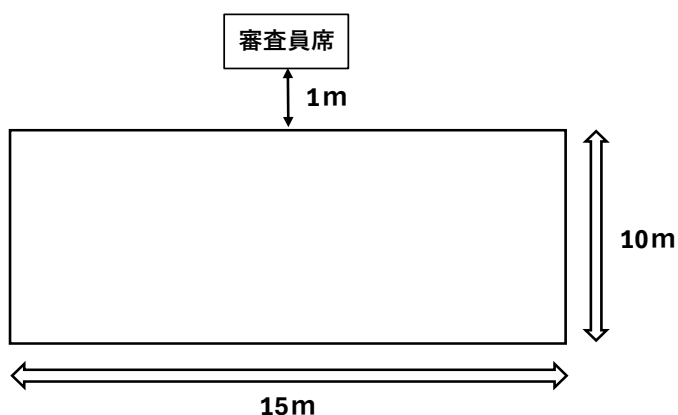
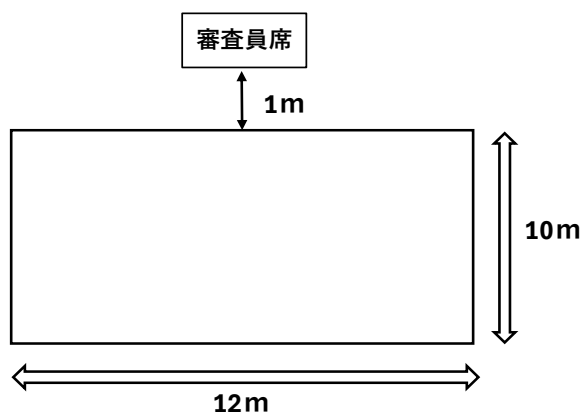
2. 審査規定

- (1) 内容
 - ① コレオグラフィー
バトントワリングとダンスワークの組み合わせ／音楽に合った構成、振り付け／チェンジオブペース／フロアの使い方、ステージング
 - ② バトントワリングとダンスワークのブレンド
バトントワリングのバラエティー、ディフィカルティー／ダンスワークのバラエティー、ディフィカルティー／バトントワリングとダンスワークのコンビネーション／シリーズのディフィカルティー／オリジナリティー
 - (2) 実施
 - ① テクニック
バトントワリングとボディワークの正確さ、明確さ／動きの熟練度、質／リズム、タイミング／音楽との関わり、調和／ダンススキルの質／ボディコントロール
 - ② パフォーマンス&エクスペッション
ショーマンシップ、エンターテインメント性／自信
★目安とする競技フロアの広さ以上に使用した場合は審査に影響することもある。
 - (3) ペナルティ
 - ① ドロップ 1 本につき 0.1 点減点
 - ② 転倒 部分転倒 1 回につき 0.1 点減点、全転倒 1 回につき 0.2 点減点
 - ③ アンダータイム 演技停止合計 32 拍を超えた場合 0.2 点減点
（ドロップミスによるものは含まない）
 - ④ リストリクション 1 回につき 0.2 点減点
- ※ペナルティ審査員の結果が最終判定となる。

競技フロアについて

◎ソロトワール・トゥーバトン・スリーバトン・ペア
縦 10m×横 12m

◎ダンストワール・ソロストラット
縦 10m×横 15m



* 図のように審査員席より 1M 離して取ることが望ましい。

その他の競技規定

1. 全種目共通

- (1) ボールとティップは新しいものを使用すること。競技前にバトンのチェックを行う。
- (2) バトンのシャフトはどのような色を使用しても良い。
- (3) バトンのシャフトに貼るテープはどのような色を使用しても良い。
- (4) 競技フロアヘタオル・パウダーなどバトン以外を持ち込んではいない。
- (5) 怪我のための包帯等は可。
- (6) 必要ならばメガネは可。サングラス・光りものによる顔の装飾、ピアス、アクセサリ類は全て禁止する。
- (7) 付け爪、マニキュア等、爪の装飾は全て禁止する。
- (8) スポーツ競技であることを前提に、適度なステージメイクアップは良い。装飾（顔に模様を描く等）は禁止する。

2. その他

- (1) 大会の主旨及び実施要項・競技規定・審査規定に反する行為を行った場合、警告または次回大会出場停止とする。
- (2) 競技規定・審査規定の主旨を変更することなく、実行委員会において加除訂正を行うことができる。

緊急対応競技規定 審査規定

- (1) 災害や感染症などの緊急事態状況の大会開催は、日本バトン協会九州支部が総合的に判断し延期または中止とする場合がある。
尚、緊急事態の影響を受けた大会開催は、選手や大会関係者の安全性と支援を意図することを目的とし以下の項目を検討し縮小開催する場合がある。
- ① バトンチェックの有無。
 - ② 準決勝の有無。
 - ③ 審査員数の減少の有無。
- (2) 競技規定・審査規定の主旨を変更することなく、日本バトン協会九州支部の理事会において加除訂正を行なうことができる。

順位規定

1. 審査

(1) 審査員長・副審査員長

審査員長 1 名、副審査員長 1 名とし、審査の円滑な遂行を統括する。

(2) 審査員・ペナルティ審査員

① 審査員は、準々決勝 2～3 名、準決勝・決勝 5 名とする

② ペナルティ審査員は、準決勝・決勝 1 名とする。

(3) 準決勝・決勝は次の通りとする。

① 各部門共準決勝及び決勝を行う。但し出場者数により準決勝を行わず決勝を行う場合がある。

② 出場者数により準々決勝を行う場合があり、準々決勝に同点が出た場合は同位として次位を空位とする。また 20 位までは同位者が出て場合、準決勝に進出できる。

③ 準決勝に席次同点が出た場合は同位とし次位を空位とする。また 10 位までに同位者が出た場合、決勝に進出できる。

2. 順位

(1) 順位の決定

① 準々決勝は審査員が 10 点法（小数点第 2 位まで）により採点し、点数合計とする。

② 準決勝・決勝は、審査員の評点（10 点法小数点第 2 位まで）からペナルティを差し引き審査員の得点とする。

③ 各審査員の得点より席次点を算出し、全審査員の最上位・最下位を除いた席次点合計の低い方を上位とし、順位を決定する。

※準決勝を棄権した場合は棄権とし、決勝を棄権した場合は決勝の最下位とする。

④ 各部門共準決勝・決勝の成績により順位決定する。

但し、席次同点者が出た場合は、同位者のみ次の手順に従って順位を決定する。

優先順 1 全審査員の席次点合計の低い方を上位とする。

優先順 2 全審査員の最高点・最低点を除いた得点合計の高い方を上位とする。

優先順 3 全審査員の得点合計の高い方を上位とする。

上記 1～3 の方法によっても同点同席次になった場合は同点とし次位を空位とする。

⑤全日本出場枠に関係する同位が出た場合は、再演技を行って決定する。